

### 参加者の感想

- 今の学校現場で起きていることから、今後求められること、デジタルになり変容が求められる社会となっているが、教師の本質は変わらないことを改めて感じ、考えさせられました。ありがとうございました。
- 大変面白かったです。明るい気持ちになりました。週末にあえそうな遠隔授業、もっと地域と本音で話合う、アドバンスエッセンシャルワーカーなどこれからメモからふくらませて、建設的に10年後の学校のために、今の子どもたちのために、今できる工夫を諦めずに考えたいとなりました。ニセコ中学校に勤務している八軒西小学校卒業生でした。
- 大変元気が出るお話でした。時間短縮しても教育の質の向上を図っていくのは、今の学校でも大事にして、早速この夏休みから始めていきたいと思います。ありがとうございました。
- 残業は減らし教育の質は上げる、日常的に思っていることにマッチングして、その後のお話も興味深く共感しながら聞かせていただきました。子どもへの外発的動機付けを考えると、そして「子どものわかる」の授業づくりをすること、子どもを育てたいという教師としての魂を忘れないこと、学んだことはまだまだたくさんありますが、この3点を夏休み明けから実践できるよう職場の仲間と考えていきます。ありがとうございました。
- ICTの活用の意義について再確認することができました。目的をしっかりと持って活用しないと、使うことだけが目的になってしまうと感じました。少しの積み重ねで教職員が安心して楽しく過ごせる環境を作り上げていくことができる。新保先生の実践から参考にできることを取り入れていきたいと思います。また、教育の原点ともいえる、教職員のかかわりについても教えをいただいたのも勉強になりました。良い機会をいただきありがとうございました。
- 子どもに寄り添う外発的動機づけが教師の役割であること、子どもと共に物事を達成した時の教師としてのやりがいや満足感はいつの時代も変わらないことを改めて確認できました。ありがとうございました。
- 学校に効率という考え方を教員がなかなか受け入れられないのが課題。今までのリズムを変えられない、これを変えるのが至上命題。質を上げることを肝に銘じ本音のおしゃべりを増やしていきたい。
- 残業を減らし、教育の質を上げていくにはどうするか、一人でやろうとせず全体で協力していくのが大切だと知りました。それを可能にするには、普段から教員同士での交流が大切だと感じました。全てを一気に変えるとは、難しいですが小さなことから変えていけたらと思います。
- 昨今、最新の教育的課題について多岐にわたる興味深い事柄からひも解いていただき、とても楽しく拝聴させていただきました。日常を変える、いつも考えていこうと思います。大変ありがとうございました。
- 「来年どうしたらもっとよくなるという会話をホンネでしゃべる」という言葉に勇気をいただきました。全体を通じて前向きで、学校現場を良くしようというアイデアがたくさんあり、貴重な学びの機会となりました。ありがとうございました。
- 本日は貴重なご講演をありがとうございました。特に印象に残ったのは、「内発的動機づけ」と「外発的動機づけ」の違い、そして「褒め方」が与える影響についてのお話です。私自身、子どもの頃は「良い点を取ったら褒められる」という外的な動機で勉強を頑張っていた経験があります。しかし、講演で「主体性や自己肯定感を育むには内発的動機づけが不可欠である」と聞き、その重要性を再認識しました。子どもが「好き」「楽しい」と感じる気持ちを尊重し、それを伸ばす手助けをすることこそ、大人の役割だと感じます。また、「自立」と「自律」の違いも非常に示唆に富んでいました。親が全てを先回りして助けるのではなく、子どもが自分で考え、行動する機会を奪わないこと、そして失敗を恐れず挑戦できるような環境を整えることの大切さを学びました。今後は、子どもの「やりたい」という気持ちを大切に、見守ることを意識して関わっていききたいと思います。
- わたしたちが今後、どんなところに力を入れていけばよいか。また、これまで以上に大切にしなければならぬか。考えなければ進めないと思いました。委ねる、任せる、教師は伴走者となるには教え込む必要があると感じました。本日はありがとうございました。
- とても元気が出ました。自己肯定感が上がった気がします。明日からまた頑張っていきます。ありがとうございました。

- DXとは何ぞやのお話から始まり、残業は減らして教育の質は上げること、自分が歳をとった時に働きやすい環境を目指すこと、助け合える環境作りなど印象に残りました。ありがとうございました。
- 講演を聞き元気が出ました。大切なことを先生方に伝えたいと思います。また余市の良さを生徒に伝えたいと思います。ありがとうございました。
- 残業を減らしつつ教育の質を上げたり、個別最適かつ協働的な学びを目指したり、子供の主体性を伸ばしつつ必要な支援を考えたり、何かに偏ることなくバランスを考えることが大切だとわかった
- 最近、次期学習指導要領の話題を聞くとネガティブな思考に陥っていたのですが新保先生のお話を聞かせていただき、かなりポジティブな気持ちになりました。この気持ちを大切にしたいです。働き方改革、質の向上、耳の痛い話もたくさんありましたが…。60歳退職の日を心待ちにしている私ではできないこともあるのではないかという不安も生まれました。
- 自分が年をとった時に、この学校で働きたいですか？と新保先生に問いかけられた時に、胸を張ってはいと言える学校環境になっているかな、と止まってしまいました。将来、若い人達が入ってきたい、働きたいところにする、それが働き方改革だといの言葉が胸に残りました。一般職レベルで、考えていきたい命題だと思いました。先生が幌西小時代に、学校視察で訪問させていただいたことを思い出し、ICTで工夫して効率よく学校を回すというお話が実感を持って聞くことができました。未来の子ども達のために、明日からまた頑張っていきたいと思える講演会でした。ありがとうございました。
- 新保先生のご講演で、元気をもらいました。個別最適な学びでは、ただコーディネートするのではなく、より一人一人への先生の関わりを意識する事が大事だと改めて思いました。新保先生のご講演は、また是非お聞きしたいです。
- 夏休み明けから、子どもたちにやってみみたいことが増えました。自由進度学習に昨年度から挑戦していますが、子どもたちに投げっぱなしになっていた自分を恥じています。もう少し働きたいと思いました。
- 本日は、新保先生による大変貴重なご講演をありがとうございました。教職生活の節目に、初心を思い起こすような温かいお話に胸が熱くなりました。日々の業務の中で見失いがちだった「教師としての情熱」を改めて思い出すことができ、原点に立ち返る良い機会となりました。特に感銘を受けたのは、「個別最適な学び」におけるICTのあり方についてです。ICTは単に使うことが目的ではなく、\*\*「一人ひとりの学びを充実させるための手段である」\*\*という先生の言葉は、まさに本質を突いていると感じました。管理職としてタブレットの活用を求められる中で、ともすれば「ツールを使うこと」自体が目的化してしまいがちですが、その根本には「子どもたちとの関わり」が最も重要であるというご指摘は、深く心に響きました。タブレットは、あくまで学びをサポートする「ツール」に過ぎないということを改めて認識し、これからの教育活動において、いかにICTを効果的に活用しながらも、子どもたち一人ひとりと向き合う時間を大切にするかを考えるきっかけをいただきました。本日のご講演で得た学びを、今後の学校運営に活かしていきたいと強く感じております。
- これからも元気に地元愛を育てる教育を進めたいと思いました。
- 時間に入り切らないほど沢山の示唆に富んだお話を聞く事が出来、良かったです。改めて不易と流行について考えさせられました。ありがとうございました。
- 「教育こそが日本のエンジン」「学力が上がる」「本音の連携が重要」、キーワードがたくさんありました。元気がわきました。
- 最近のニュースをもとにした問題提起が、大変わかりやすく、共感することばかりでした。
- DXの意味と取り組みも、腑に落ちました。次期学習指導要領は、個別最適な指導がさらに強調されるのでしょうか。その時、今以上に教師の「今より一歩できるようにしよう」という意識を高めなければならないのだと感じました。まさに、人にしかできないことが、ますます求められるのだと感じました。貴重な、また楽しいお話しのお話をいただき、ありがとうございました。
- どの視点からもどの切り口からも普段の研修にはない発想や結論があり、あっという間に時間が過ぎました。先生のような発想を持つ師に育てられた子どもたちはきっと幸せだろうなと思ひ、最後には生徒になったつもりで聞いていました。ありがとうございました。